

親愛なる日記 (1993)

CARO DIARIO

DEAR DIARY

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イタリア／フランス

色彩 Color

時間 101分

初公開日 1995/04/22

公開情報 フランス映画社

【解説】

「赤いシュート」以来四年ぶりとなるモレッティは、これまでの“ミケーレ”なる想像上の人形のかさえ借りずに、彼が彼自身として登場。“親愛なる日記よ、この世にはぼくの大好きなことがある！”という日記の語り出しで分かる通り、実に優しく大らかな、誰からも愛される作品となった。一章目は「ベスパに乗って」。題通り、ローマ市内や郊外の、彼のお気に入りの場所をスクーターで回り、J・ビールスに会ったりしながら、パゾリーニの殺された場所に行き着く。静かで迫力のある名場面だ。第二章「島めぐり」。脚本を書くのに良い場所を探し、シチリア周辺を旅するが……。諷刺の利いたドラマ部分。そして、三章、「医者めぐり」。死の宣告をされた経験が、おもしろおかしく語られる。出だしは16ミリの本物の映像日記なのでドキリとさせられる。モレッティよ、間違っても夭折なんぞしてくれるな！

【クレジット】

監督	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
製作	アンジェロ・バルバガッロ	Angelo Barbagallo
	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
	ネラ・バンフィ	
脚本	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
撮影	ジュゼッペ・ランチ	Giuseppe Lanci
音楽	ニコラ・ピオヴァーニ	Nicola Piovani
出演	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
	ジェニファー・ビールス	Jennifer Beals
	アレクサンダー・ロックウェル	Alexandre Rockwell
	カルロ・マツァクラティ	Carlo Mazzacurati
	レナート・カルペンティエリ	Renato Carpentieri
	アントニオ・ニーウィラー	
	モーニ・オヴァディア	Moni Ovadia